

## 校長と生徒会会長が



秋田県立仁賀保高等学校 生徒会

### 会長 木内芽空 GAKU KINOUCHI

## 地域と未来

**生** 徒会会長の木内芽空です。今回は私が3年間過ごして感じた仁賀保高校の魅力を生徒会長としての視点も交えつつ紹介したいと思います。

まず、仁賀保高校は地域一体型の学校であるということです。私の文化祭、1年生は象潟地域にあるにかほのほかに(旧上郷小学校)で行われた「いちじくいち」という市場型のイベントにスタッフとして参加しました。商品の搬入から接客、会場の清掃まで実際に自分たちの手で行いました。これはほんの一例ですが、実際に地域の行事に参加し、大人の方々と一つのイベントを作り上げるなど、他の高校ではなかなか出来ない経験ができる学校だと思います。

そしてその後、私は生徒会に入り先輩の背中を見て少しずつ生徒会の仕事を覚えました。その中で私が感じたことは、生徒会の仕事は想像していたよりもずっとアクティブなこと、地域行事など学校外の活動もとても多く、3年間で沢山の貴重な経験を積むことが出来ました。

なかでも、「東京オリンピック・パラリンピックホストタウンにかほ市」関連のイベントに多く関わったことは非常に光栄に思っています。「オンライン交流会」に始まり、「オンライントーク」「オンライン激励会」など、

さまざまな場面で声をかけていただきました。日本とは違ったりベリアの文化を知れたことは勉強になったほか、微力だったかもしれないがオリンピック・パラリンピック選手の方々の力になれたことが嬉しかったです。

このように、生徒会を中心に生徒が活発であることも仁賀保高校の魅力の一つだと思います。

次に文化祭です。今年度の文化祭は、クラスデコ、ステージ発表ともに3密回避を念頭においての開催となりました。当然のように文化祭運営や企画提案はとても難しく、就職試験や大学試験などと時期が重なってしまう生徒も多く、文化祭準備期間は非常にハードなスケジュールでした。しかし、先生方のアドバイスや協力のおかげで、全校生徒が「自分事意識」を持って取り組んだ素晴らしい文化祭になったと思います。先生方が生徒の意見をしっかりと聞いてくださり、我々生徒会はこれまで以上に無自覚で活発に動くことが出来ました。

この3年間で、新しい取り組みや地域貢献など貴重な体験をたくさん積むことが出来ました。そのすべてが仁賀保高校でなければ出来なかったことです。そんな仁賀保高校はスクールコミックのような活気と充実感のある素晴らしい学校だと思います。

## それぞれの目線で仁高の魅力を紹介



秋田県立仁賀保高等学校

### 校長 小園敦 ATSUSHI OZONO

## 師友もろとも手を取りて

**仁** 賀保高校は、平成31年1月15日、にかほ市と画期的な連携協定を結びました。これにより地域の皆さんには学校に足を運んでいただき、「開かれた高校」を目指して地域の活性化に向けた取り組みを企画して参りました。生徒には、常に感謝の気持ちを持って地域に貢献してほしいと伝えております。

平成15年に誕生した情報メディア科は各団体からの依頼を受け、ポスター作成等とおして地域の要望に応えて参りました。また、にかほ市内の小学校でプログラミング教育に関する支援活動をおして、生徒が学んだことを先生役となって発信していく教育実践も3年目を迎えます。

学力向上の方策として、アウトプット(書くこと、描くことや話すこと、ジェスチャー等による表現)力を育成する機会を増やしています。教科書の内容をベースに身につけた基礎・基本的な知識や技能を踏まえて、地域資源(産業Ⅱいちじく、文化Ⅱ番楽、自然Ⅱジオパークの3本柱)を積極的に活用しながら、にかほ地域の魅力や課題可能性を探り、地域の発展に寄与することを意図した「総合的な探究」を教育課程に取り入れました。

そして、地域に「開かれた高校」として、ICT分野を皮切りに地元企業の理解を得た教育活動を展開しています。教員のみならず地域の知恵者、行動力の達人、すなわち「師」を学校に

招き、あるいは現地で共に考え学びあう取り組みを実践しています。

本校は少子化をプラスと捉え、少人数の学びや一人ひとりにきめ細かな指導、支援が提供できる教育環境をより一層整備していきます。教職員は、「生徒一人ひとりが地域社会を支える唯一無二の人間」という意識を共有し、地域の宝である仁高生たちを雄々しく優しく導くために、県内唯一の情報メディア科が得意とするスペシャルな力を教育活動全般に活用し、他校とはひと味ちがう地域探究的な学びを提供したいと考えています。

また、大学との連携を進めながら生涯学習の場を提供するコミュニティの機能を担い、仁賀保高校が地域社会の憩いの場、活力の場になりたいと考えています。

私たち教職員は、校歌3番で歌う「師友もろとも手を取りて」を心に刻み、「仁高でつなごう地域と未来」を合い言葉に新たなチャレンジを果敢に取り入れて参ります。

ここで言う「師」には、教職員のみならず、地域の皆さまも含まれています。地域で輝きを放つ師匠から地域愛に満ちた心意気と技を伝授いただき成長したいと思えます。

今後とも地域と共に歩み「挑戦する仁賀保高校」の教育にご理解とご支援ご協力をよろしくお願ひします。